

議事概要記録

開催日時	平成27年5月30日(土) 13:00 ~ 14:40	開催場所	済生会和歌山病院7階会議室
会議種別	平成26年度 第2回理事会	議長	畑 忠良
		書記	田中 規仁
出席者 <敬称略>	玉置 達紀、竹中 正人、畑 忠良、大石 博晃、木下 博之、田中 規仁、 蓬台 克之、丸澤 佳子、栗林 伴有、瀧口 良重、久保 光史、神藤 洋次、 石井 啓子、脇村 小津江、田原 靖子、 村田 正吾、勝山 浩樹、17名		
欠席者 <敬称略>	なし	オブザーバー	
次 第			
議事概要	<p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 会長報告</li> <li>2. 事務局報告</li> <li>3. 学術部報告</li> <li>4. 経理部報告</li> <li>5. 各種委員会報告             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 公益事業活動</li> <li>(イ) 定款・渉外</li> <li>(ウ) 精度管理</li> <li>(エ) データ標準化</li> <li>(オ) 会誌編集</li> <li>(カ) ホームページ</li> <li>(キ) 会報</li> <li>(ク) 月例行事予定表</li> </ul> </li> <li>6. 連盟</li> <li>7. その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>病院協会学術大会について</li> <li>総会について</li> </ul> </li> </ol>		
決議事項 及び 継続事項	<p>定刻に、議長・畑副会長より開会宣言があった。 ひき続き、玉置会長より挨拶があった。</p> <p style="text-align: center;"><b>報告事項</b></p> <p>会長報告</p> <p>日臨技について、先週に日臨技総会があった。出席および書面・電子表決・委任提出計29,936名 57.1% であったため、第2号議案・定款の変更については2/3の議決権受領には至らず否決となったとの報告があった(第1号・第3号は承認)。なお、電磁表決を導入したにもかかわらず、2/3に達しなかったことに、次年度へ向けた方策が今後の課題とも報告があった。</p> <p>支部関係について、7月11日に日臨技近畿支部幹事会が予定されているとのことであった。日臨技学会時には運天学会長より支部学会の進捗について説明があったとのこと。しかし、進捗があまり進んでおらず、次回の幹事会ではある程度が進んでいるであろう</p>		

とのことであった。

その他団体について、6月23日に病院協会会長とメディカルスタッフ団体会長との懇談会が予定され、7月14日には知事とメディカルスタッフ団体会長との懇談会が予定されているとのことであった。知事との懇談では、災害対策について、当会から県と他団体とのネットワーク構築についての協力要請と厚労省通達による都道府県の安全な輸血医療の推進事業に関して、医療機関・和歌山県・赤十字血液センターの3者からなる合同輸血療法委員会の活動状況確認について、申し入れを行うとのことであった。

#### 事務局報告

以下について事務局より報告した。

4月28日に災害対策委員会発足された。

4月24日に都道府県技師会専用サイト新会員管理システムの運用開始について日臨技より知らせがあった。

4月25日に和臨技オリエンテーションを開催した。

5月1日に近畿支部学会の会場が確保された。

5月16-17日に日本医学検査学会が開催された。

5月23日に日臨技総会があり、和臨技からの表決率は74.53%(234/318)であった。

5月27日に第1回病院協会主催学術大会の打ち合わせ会議があった。

#### 学術部報告

今年度より、日臨技生涯教育推進研修会助成制度が変更された。前年度までは一律助成金5万円だったのが、今年度は基本助成金2万円+参加者×500円(最大60名 3万円)であると報告があった。また、20研修申請を目指すとのことであった。

第18回学術部一泊合同研修会を6月20日(土)・21日(日)の2日間、かんぼの宿 紀伊田辺で開催すると報告があった。参加申込数は51名とのことであった。教育講演(実技)「K-J法」は全員参加型を考えているとのことであった。

和歌山学会のガイドラインについて、以下のように若干の見直しをかけた。

- 一般演題申込用紙について、発表領域を追加した。
- 学術部機材使用申請書について、機材送付先を加筆した。
- 和歌山県医学検査学会 一般演題抄録作成方法について を新規に作成した。
- 和歌山県医学検査学会企画運用ガイドラインに、参加費徴収の詳細と講師料を加えた(若干、確認が必要な個所があったため、確認することとなった)。

#### 経理部報告

一会員から、理事会費予算25万に対し支出額が38万弱と多いのは何故か?と匿名の質問があった。回答としては、その殆どは交通費であること、予定した理事会数よりも開催数が多くなったこと、次年度予算は継続で25万計上したが次々年度より見直すこと、について総会での収支決算報告で説明すると報告があった。

監事から、領収書の発行・取り扱いについて指摘があった。運用については有識者の意見を聞きながら、今後取り決めて行くこととした。

## 各種委員会報告

### 公益事業活動

特になし

### 定款・渉外

災害対策委員会が発足したと報告があった。総会終了後に第1回災害対策委員会が開かれるとのことであった。

### 精度管理

第1回和臨技精度管理委員会を開催したと報告があった。

平成27年度スケジュールが提示された。

精度管理事業関連の名称統一について、「第〇〇回 平成〇〇年度 和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査」と申し出があり、理事会承認された。

是正報告書について、委員会にて名称がきつく感じられると意見があったため、「精度管理調査願ひ」への変更について申し出が有り、こちらも理事会承認された。

理事会持ち帰り案件として、FAX参加形式の廃止（メール配信を基本）の具申があり、承認された。また、ホームページを活用し、手引書・結果シート・フォト資料を掲載したい（配布業務削減、CD・印刷などのコスト削減が見込まれる）旨の提案があった。ただし、パスワード設定の必要性など、セキュリティに関する事も問題として挙げられるため、引き続き検討課題とすることとした。精度管理報告書も報告前にホームページに掲載すれば、各自閲覧・印刷のうえ精度管理報告会に参加して頂ける利点があるため、前向きに検討することとなった。

### データ標準化

日臨技より今年度のスケジュール案が提示されたが、詳細は日臨技事務局に問い合わせ中とのことであった。

JCCLSと日臨技との共用基準範囲案策定について、大きな動きはないとのことであった。

### 会誌編集

特になし

### ホームページ

会の歩みについて、平成24年以降の記載が無いため追記（例：第1回和臨技災害フォーラムの開催）してはどうかと丸澤委員長より提案があった。会長と事務局で検討することとなった。

### 会報

65号発行にむけて、訪問して頂きたい施設があれば申し出てくださいとのことであった。

### 月例行事予定表

特になし

#### 連盟

今年の目標は10,000から5,000人とする報告があった。各地区に副支部長が新たに設置され、石井理事が就任した。日臨技では90口の加入があったとのことであった。

政治状況と連盟のかかわりについて、次の参院選について話し合いがされた。現職2名の動向を伺いながら参院選について検討するとのことであった。3人目の擁立に対し、当選には25万票を目指さないと厳しいとのことであった。

#### その他

病院協会学術大会テーマは「病院機能の向上」、シンポジウムテーマは「人材育成について」とのことであった。なお、シンポジウム「人材育成について」は、病院ではなく技師会としての取り組みを報告して頂きたいとの報告があった。

優秀賞の実施について、採点を座長・タイマー係・パワーポイント係の3名で優秀賞を選出することとなった報告があった。優秀賞受賞者には論文執筆を促すが、他団体で演題発表出来なく成らない（既発表にならない）程度に留めるよう配慮するとのことであった。

#### 総会について

事務局より、総会進行について概要を説明した。その他、監査報告者、総会役員予定者について確認を行い、報告議案について詳細内容は担当理事が交代で説明することを確認した。

記録作成	平成 27 年 6 月 20 日	氏 名	田中 規仁	提 出	平成 27 年 6 月 21 日
------	------------------	-----	-------	-----	------------------

※ 諮問委員会で「報告書」が提出される場合、「委員会議事録」が別途作成添付される場合は添付資料で可